

令和3年度第1回東近江市地域公共交通会議要旨

令和3年4月19日（月）午後3時30分から
東近江市役所新館3階302会議室

- 出席者：南川会長、中村副会長、逢委員、野口委員、福島委員、河合委員、洲鎌委員、山口委員、大塚委員、夏原委員、寫村委員、野村委員、濱田委員、宮崎氏(飯田委員代理)、北村氏(飯田委員代理)、梅原氏(磯谷委員代理)、杉山委員、山本委員、今若委員、岩橋委員、大橋委員、小杉委員
- 事務局：田井中担当部長、藤田次長、山本課長、須田課長補佐、加藤主事、福岡主事

- 1 開会 【進行：事務局】
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶 小椋市長
- 4 東近江市地域公共交通会議について（事務局）
- 5 会長、副会長選出（会長：南川委員、副会長：中村委員）

【以降南川会長が議長となり議事を進行】

6 議事

報告事項

- (1) 令和2年度東近江市コミュニティバス利用状況等について
事務局から資料1、時刻表に基づいて説明。

【意見・質問】

- 委員 ちょこっとタクシーで五個荘エリアと建部線の利用者が増加したと報告を受けましたが、その要因は何か。
- 事務局 五個荘エリアについては、小学校の通学で利用いただいております、令和2年度の通学利用者が増加したことが要因である。建部線については、毎月通院で利用いただいている利用者がおられるが、特定月で通院回数が増加したことから増加した。
- 委員 平成30年度と比較した場合はどのようになるか。
- 事務局 平成30年度から令和元年度は少し増加したが、令和2年度で大きく減

少している。

委員 令和2年度は新型コロナウイルスの影響で減少したのか。

事務局 そうである。

委員 ちょこっとバスの感染対策はどのようにしているか。

事務局 ちょこっとバスの感染対策については、1日の始業時、終業時に車内全体の消毒作業実施や長時間停車する際にはドアを開け車内換気をするとともに車内消毒をしている。走行時においては、前後の窓を開け車内換気に努めるとともに、運転席の後ろの席を使用禁止とし、運転手との距離を保てるようにしている。

- (2) 令和2年度近江鉄道路線バス及び近江鉄道の利用状況について
近江鉄道株から別冊資料に基づいて説明。

【意見・質問】

特に意見・質問なし。

- (3) 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会（法定協議会）での議論経過について
事務局から資料2に基づいて説明。

【意見・質問】

特に意見・質問なし。

協議事項

- (1) 東近江市地域公共交通計画及び第5次コミュニティバス再編計画の策定について
事務局から資料3に基づいて説明。

【意見・質問】

委員 公共交通計画の策定と調査事業の計画書の協議という認識で良かったか。

事務局 そのとおりである。

【採決の結果、全会一致により承認】

7 その他

- ・近江鉄道定期券購入支援補助金について
事務局から資料4に基づいて説明。
- ・道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービスについて
事務局から資料5に基づいて説明。
- ・新型コロナウイルスワクチン集団接種におけるタクシー利用について
新型コロナウイルスワクチン接種推進室から資料6に基づいて説明。
- ・東京2020オリンピック聖火リレーの実施に伴う通行制限について
国スポ・障スポ推進課から資料7に基づいて説明。

【意見・質問】

委員 ワクチン接種者への輸送事業について、タクシー事業者も積極的に関与していきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

また、聖火リレーについて、詳細にお聞きできたのが東近江市が初めてでありがたい資料となった。

委員 聖火リレーについて、通行規制間の駅ターミナルの運用について決まっていることがあれば教えていただきたい。

例えば路線バスであれば運休するのか。臨時のバス停を設置するのかなど。あらかじめ利用者の方に周知する必要もあるため教えていただきたい。

国スポ・障スポ推進室 後日、個別にご相談させていただきたいと考えてはおりますが、通行規制までの時間ギリギリまで公共交通機関については通行していただき出来る限り影響の無いようにしたいと考えている。

委員 ワクチンの集団接種について、地域の一人暮らしの方には既に民生委員さんに関わっていただいているが、民生委員さんが地域の方に説明できるように概要を丁寧に民生委員さんにも教えていただきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種推進室 説明に伺わせいただく。

8 全体を通じての質疑応答

委員 湖東地区の自家用有償運送について、地域公共交通計画の策定があるが、自家用有償運送なども考慮いただいた計画となるのか。

事務局 昨年末に道路運送法施行規則の大幅な改正があり、多様な担い手により地域の公共交通を維持していきなさいという国の指針が示されている。地域の取組みと既存の公共交通とが相互補完しながら地域利用者の利便性を改善する必要があり、地域の取組みが利用者の利便性改善に繋がるのであれば支援させていただきたいと考えている。しかしながら、まちづくり協議会から相談を受けているところもあるが、地域の公共交通を担っていただいている運行事業者様から見てこの事業がどうなのか。未知なところもあるため、今後協議していく中で地域公共交通との兼合いや既存の利用者にとってより良いものであるかなど深く議論しながら、協議が調ったところで皆さまにお知らせ、協議していただかなければいけないと考えている。

9 閉会 挨拶 田井中担当部長